

東地区児童館 放課後子ども教室だより



NO.4

令和7年 3月31日

【合言葉：きまりを守り 元気にあいさつ】

1月「行ってしまう」、2月「逃げる」、3月「去る」、と言われるように月の過ぎるのが早い3学期でした。2月の節分週間に「絵馬に願いを!!」と題して願いごとや豊富など自由に書いてもらいました。「戦争がなくなればいい」「家族がみんな元気に過ごせますように」「お金がたまりますように!」「〇〇が上手になりたい」と現実に向き合った願いがありました。4月から中学生になる6年生は新しい生活への希望と友達への感謝を綴っており、一人ひとりの子が成長していることを嬉しく思います。

4月からステップアップ!! また新しい生活で活躍していくことを期待しています。



6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今年度の6学年のみなさんは子ども教室をたくさん利用してくれました。宿題を一生懸命やっていた姿が印象的ですが、友達と仲良く元気に過ごす姿に小学校時代の成長の大きさを感じます。いよいよ中学校での生活が始まりますね。これからの3年間は、自身の将来の生き方の基礎を作る大事な時期です。みなさんが、『将来の夢』の実現に向けて中学校で大いに活躍されることを心より祈っております。

中学生になっても遊びに来てください。



《1年間の児童館での成長をみて》

下校後の解放感も加わり、友だちとの主張のぶつかり合いなどいろいろなことがあった低学年の子どもたちも徐々に遊びの中で譲り合ったり順番待ちをしたりと、相手を思いやる姿をたくさん見せてくれました。高学年も低学年の憧れとなり、その輪の広がり、異年齢での生活から生まれ得られるものが大きいのだと考えています。東地区児童館のキャッチフレーズ「たのしいな えがおでいっぱい児童館」となるよう子どもたちが充実して過ごせる子ども教室をめざして環境を整えていきたいと思えます。来年度は今年度とは違った学習の仕方に変え、自分で考えて行動できるよう支援していきます。ご家庭での学習の確認が大切となりますので、ご理解ご協力をお願いします。

《体験教室の様子》

☆1月15日(水)「軽井沢森の詩」カルタ大会 参加者43名

毎年恒例となっているカルタ取りを行いました。楽しみにしている児童も多く1～6年生が学年別に分かれ、読み手の声に耳を傾け、読み始めると静まりかえるその様子は真剣そのものです。「軽井沢森の詩」のカルタは軽井沢の自然・思い出の場所等の素敵な内容で作られており、児童館ではこのお正月のためだけに使うようにしています。年に一度だけ行う大会はいつも盛り上がり楽しい体験教室のようです。「負けてくやしかった」という感想も多くありました。また来年楽しみましょう。



《体験教室の様子》

☆1月22日（水）「バルーン教室」 講師：千葉寛美さん 参加者：39名

一年ぶりにバルーン教室を行いました。講師にいろいろなバルーンを教えていただきました。少人数制を導入し、15分ごとに定員10名4回行い、低学年は飛ばせるねずみを作り、出来上がったねずみを飛ばして大喜びでした。高学年は自分の作りたい剣・花・熊の少し難しい作り方に挑戦しました。少人数で行ったことで難しいことにも講師の先生から個別に教えていただけたので、作り方をマスターできたように思います。「たのしかった！」「お花が作れるようになって嬉しかった！」などの感想があり、終わってからも作り続ける子もいて講師の先生も「教えた甲斐がありました。」といおっしゃっていました。



《体験教室の様子》

☆2月5日（水）「人形劇」 講師：乙川由美子さん 参加者：60名

人形芝居 狂言「ぶす」を鑑賞しました。「ぶす」とはトリカブトのような毒のことです。「駄目だと言われると余計にやってみたくなるのが人の性」という迫力のある語りから始まり、みんなびっくりしたように引き込まれました。内容は用事で外出する主人に留守をまかされた太郎と次郎が壺の中には猛毒が入っているからぜったいに触らないように言われるが気になってしかたがなく、太郎は思いきってなめてみるとそれは砂糖で全部たべてしまったことから知恵をきかせる話です。一休さんのとんち話を思い出していただければと思います。大型人形と乙川さんの語りと動きで、最後まで笑いありの楽しい鑑賞ができました。人形劇も2年目になると楽しみにしている子もいて、「今年も楽しかった」という感想が多く聞かれました。鑑賞して心に残る体験をこれからも計画したいと考えています。やってみたい方、「こんなことあるよ」という方、募集しています。



みらい子育てクラブの皆様には体験教室などご協力いただきありがとうございました。とても助かりました。今後ともよろしくお願ひします。



《体験教室の様子》

☆3月5日（水）じゃんけん大会 参加者：59名（全学年）

6年生を中心として、6年生対勝つまでじゃんけんを行いました。2回続けて勝つと参加賞の引換券がもらえ、負けてしまうとまた後ろに戻り最初からやり直す。たかが『じゃんけん』と考えがちですが、1年生から6年生までみんな大好きで真剣勝負となり負けると悔しそうです。6年生は「負けようとするとなんか勝ってしまって大変だった」と笑っていました。帰る時に引換券と参加賞のイヨカンを交換し嬉しい笑顔でいっぱいでした。

☆3月5日（水）卓球大会 参加者：21名（全学年）

卓球は申し込み制で低学年と高学年に分かれてトーナメント方式で行いました。対戦している方は真剣で、応援している方も失敗しないように見守りドキドキ感でいっぱいでした。11点先行勝負でみんな最後まで頑張りました。

卓球のラリーも10年以上前の記録1169回を超えるか1週間行い、6年生の女子2名が少しずつ記録を伸ばし1339回とみごと記録達成!!することができました。卓球大会を行ったことで、今まで興味を示さなかった子もやり始め卓球人口が増えました。今回からトロフィを用意し、勝者の名前を付けていくことにしました。これからも続けていくことを話すと「やったあ〜」と次を目標にしていました。



《避難訓練》

今年度は児童館で起こりうる火災・地震・不審者侵入・浅間山噴火・水害・Jアラートといくつか避難訓練をやってきました。2月からは予告なしで訓練を行いました。低学年も一度やった避難方法をしっかりと覚えていて行動できました。来年度も引き続き行いますが、ヘルメットの忘れ物が多いので着用できるようにお願いします。自分の身は自分で守ることをご家庭でも話し合ってみてください。

今年度よりコドモンが導入され利用申し込みがスムーズとなり、ご家庭との連絡方法も変わりました。ご協力ありがとうございました。入退室の確認をこれからもよろしくお願いします。来年度も安心安全で気持ちよく利用できる場所であるよう職員一同取り組んでまいりますのでよろしくお願いします。ご心配なことなどあればお気軽にご相談ください。

東地区児童館 42-3809